

聖餐式の言葉から 9

主の平和が皆さんとともに <平和の挨拶^{あいさつ}>

懺悔^{ざんげ}の後、聖餐式の第2部<聖餐>の部に入ります。
その冒頭が平和の挨拶です。

司祭 主の平和が皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

司祭 平和の挨拶を交わしましょう

ここでルブリック（式文中、小さい字で書かれた指示・説明）にあるとおり、互いに「主の平和」と唱えて挨拶を交わします。

この平和の挨拶は、主イエスの言葉に起源があります。

イエスは十二弟子を派遣するにあたってこう言われました。
「その家に入ったら、『平和があるように』と挨拶しなさい。家の人々がそれを受けるにふさわしければ、あなたがたの願う平和は彼らに与えられる。」マタイ 10:12-13

復活したイエスは、おびえている弟子たちのところに来て、その真ん中に立って言われました。

「あなたがたに平和があるように」ヨハネ 20:19、21、26

主の平和と喜びが弟子たちの間に満ちました。

主イエスの平和の呼びかけを受けて、わたしたちもその平和を互いに呼びかけ、分かち合い、祈り合います。復活の主がその場を平和と祝福をもって満たしてくださいませ。

パウロはその手紙の冒頭でこう祈りました。

「わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。」ローマ 1:7 ほか

わたしたちはお互いの間で平和を呼びかけ祈り合うとともに、主イエスが願われたこの世界の平和を求めて歩んでいきます。

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」マタイ 5:9

司祭 ヨハネ 井田 泉